

三位一体で獣害対策の実現

～行政と農家との懸け橋を～



(福井県) 高浜町有害鳥獣対策協議会

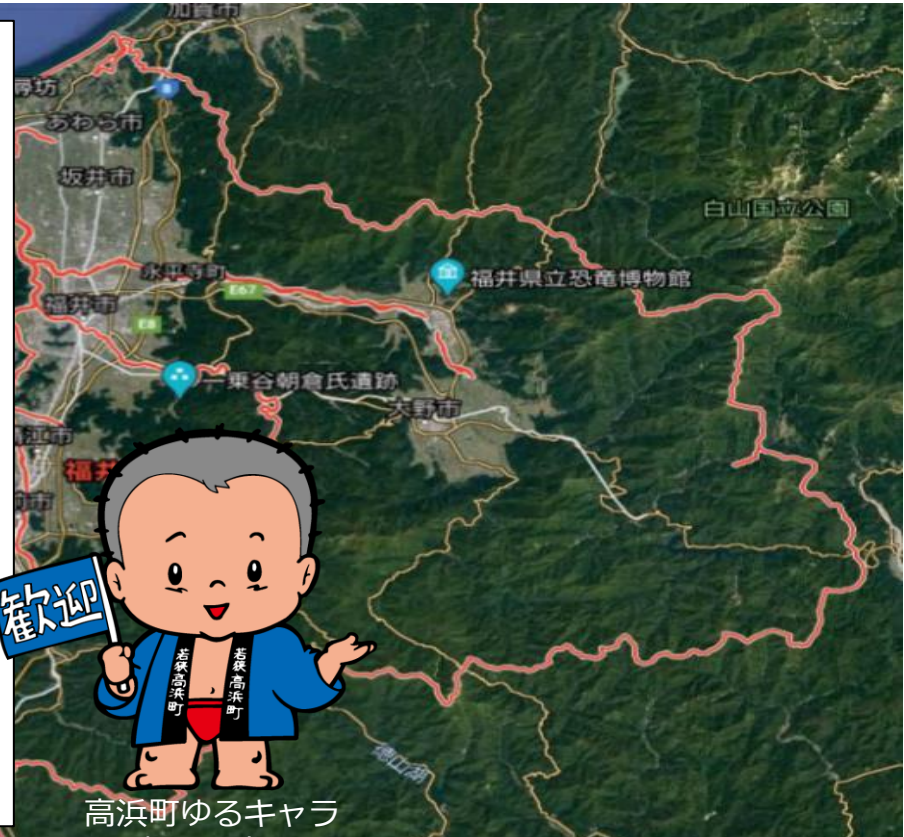
副会長 永野 千太郎

事務局 神社 峻広

(同)M&N 松宮 史和

高浜町の概要

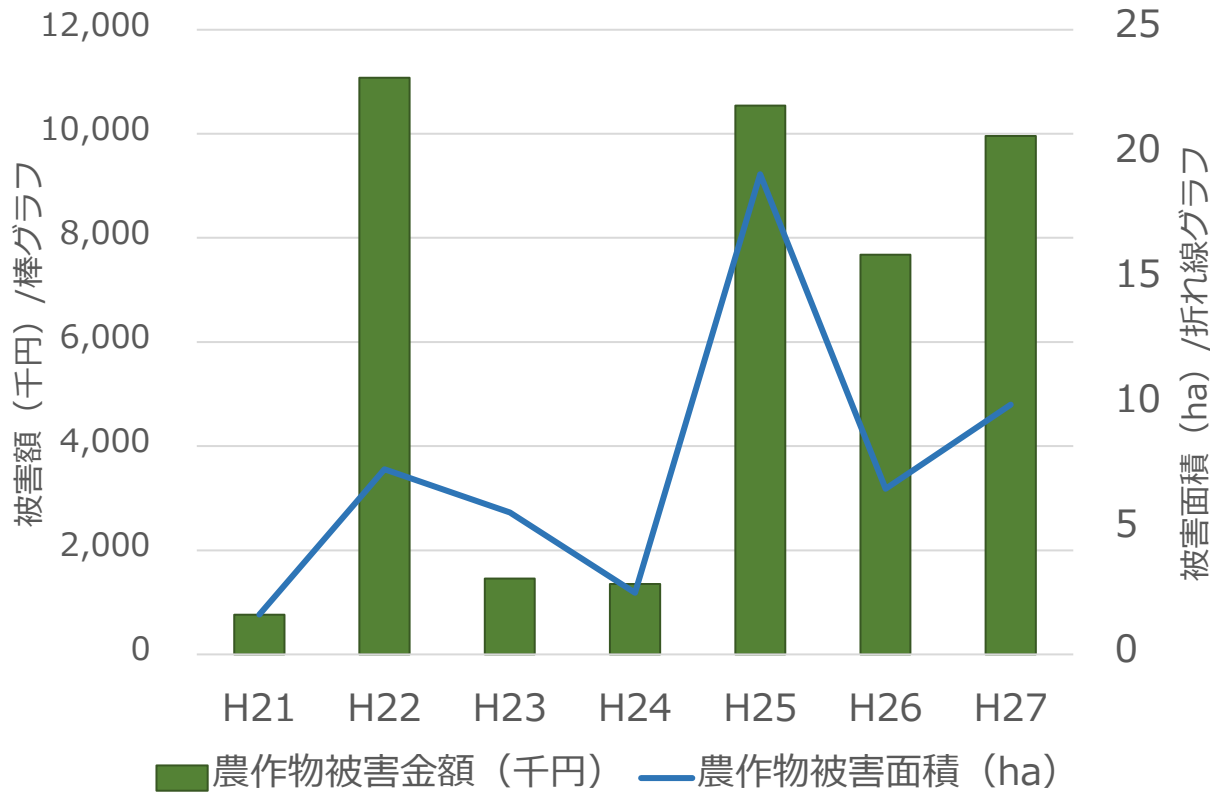
- ・ 福井県の最西端。
- ・ 人口約 1 万人、高齢化率54%
- ・ 京都府との境に「青葉山」



→山と海の距離が短く、
町全体に野生鳥獣が出没。



高浜町の被害状況(～H27)

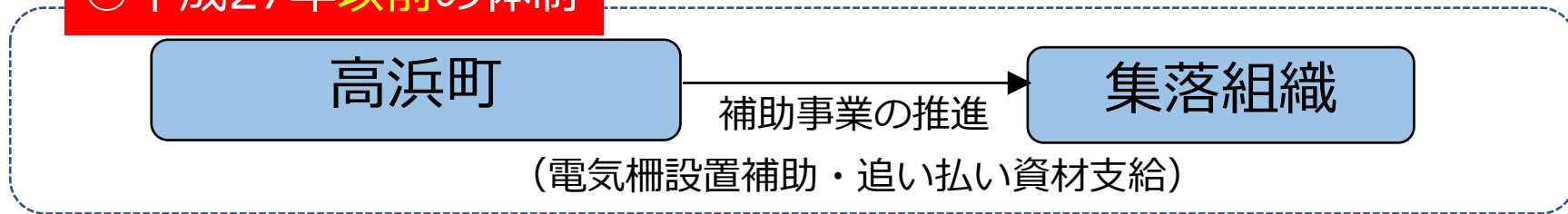


H5～：イノシシ、サルの被害が発生
H25～：被害が高止まり

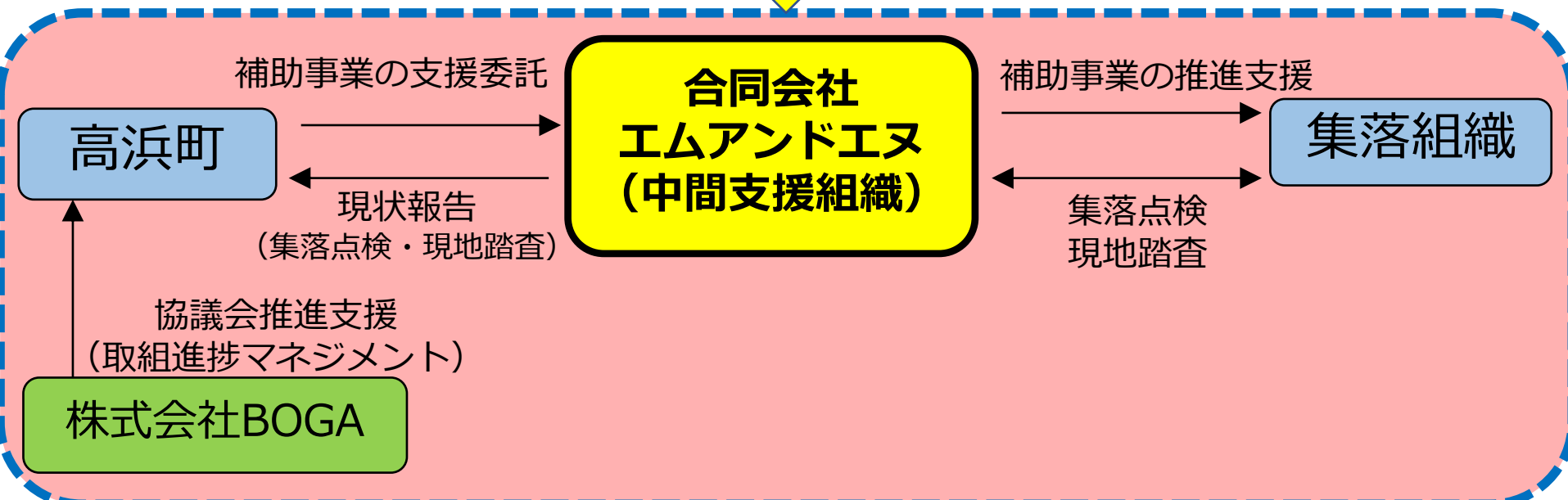
早急な対策が必要

高浜町有害鳥獣対策協議会の推進体制

○平成27年以前の体制



○平成27年以降の体制



◆従業員数：4人(うち狩猟免許保持者3人)

○企業理念

「ヒト」と「自然」との関係づくり

◎企業方針

住民目線での問題解決の方法の提案

獣害対策の主役は地域集落

いま、自然とヒトとの共生を

問題点の把握 (M&N・集落)

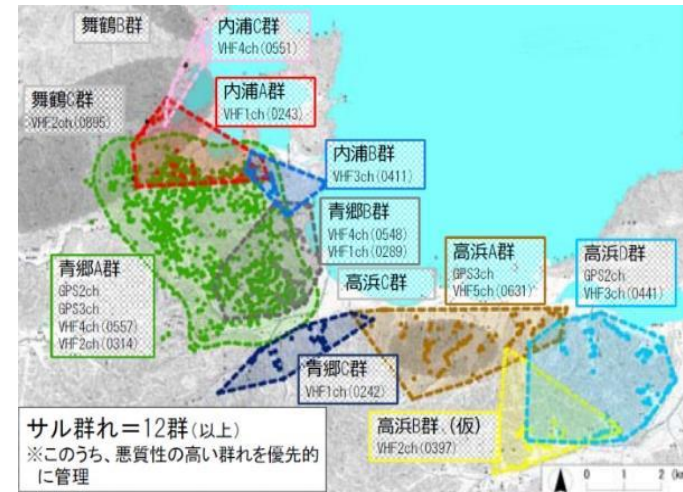
○全町で集落点検を実施



防護柵の管理状況
(ほとんどが効き目なし)



放置果樹
(点検時確認 5 6 3 本)



サル群れの把握
(町内に12群以上を確認)

- ・ 侵入防止効果のない防護柵
- ・ イノシシ、シカ、サルを誘引する環境

⇒正しい対策知識の普及が急務！

対策支援の実施

集落組織



住民参加型の集落点検



放置果樹の対策支援

合同会社
エムアンドエヌ
(中間支援組織)

高浜町

サルの位置把握

出現場所を予測

住民に周知
(携帯一斉メール)

追払い
(住民皆で参加)

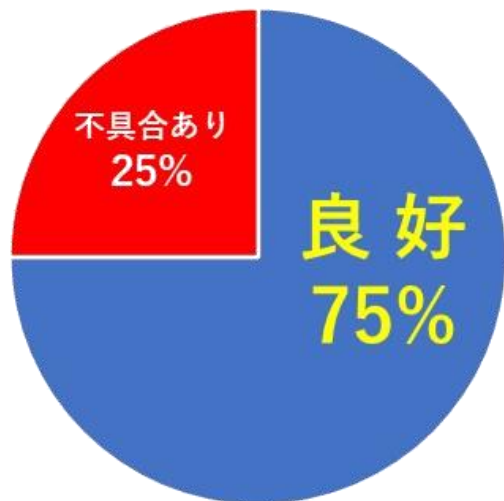


サル出没予測システム構築
(たかはまサル予報)



サル用電気柵の補助の提案

対策支援の結果



放置果樹の対策の推進
(60.2%完了)



サル用電気柵の導入
(120カ所)

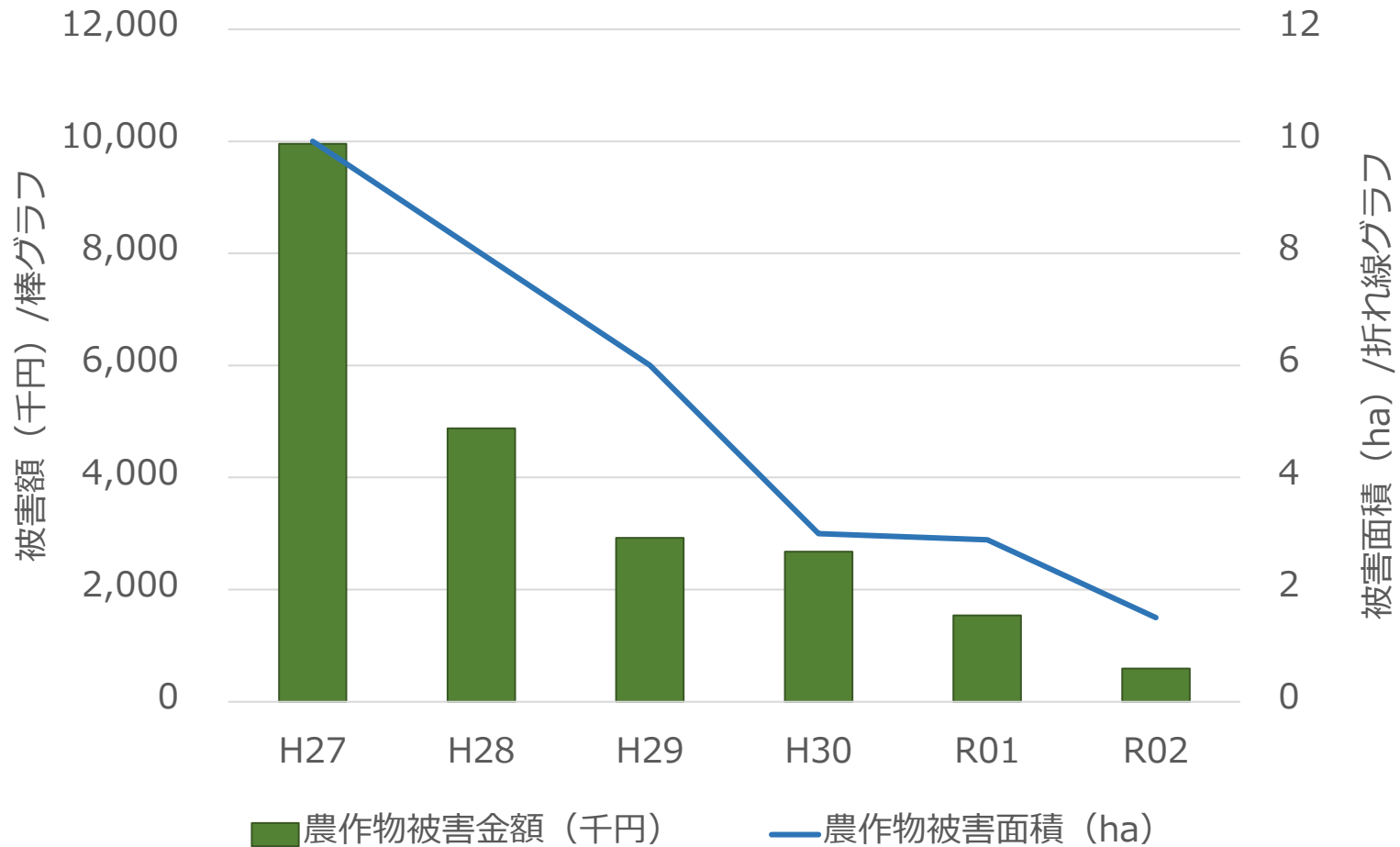
防護柵の大幅な改善
(7%⇒75%)



サル追払いが出没予測システムで効率化

鳥獣害対策が
迅速スムーズに展開

農作物被害の大幅な減少



イノシシ被害：95.6%減少 サル被害：R2被害なし

継続的な対策人づくり



全集落対象に報告会を開催
(集落リーダーを育成)



出前授業の実施
(小学4年生)

町民全体の鳥獣害対策の意識が向上！



**これからも獣害に負けない
高浜町を町全体で創っていきます！**